

新庁舎整備と用地（果樹公園）購入の費用 10対3で可決

長年の懸案
進展へ

新庁舎建設は、整備手法調査報告書作成以来、7年間を経てようやく実施設計に進むことになった。庁舎建設に対し、8月末に起きた葛川氾濫に見られた影響を問う質疑・討論があった。議会は町へ葛川対策の決議を提出している（3ページ参照）。今年7月、「ラディアン周辺行政機能等集約基本設計」へのパブリックコメントは188件にのぼった。

●一般会計補正予算（第6号）（議案第69号）

土地（二宮果樹公園）購入費用 1億3,236万1千円

不動産鑑定評価額は約1.97億円だったが、県と協議の結果、新庁舎建設用地であることと、県の天然記念物（梨・桃の原木）の管理への協力を勘案し割り引かれた金額となった。財源は全額財政調整基金。（下記、契約の記事に続く）

埋蔵文化財試掘調査委託料 46万2千円

試掘は縦横深さ2mを3か所。実質工事は3日、事務や調整含め1か月半～2か月の期間を要する。

更に本格的な発掘調査（本掘）が必要な場合は、約半年間の周知期間を設けた後、令和7年度中に調査終了の予定。費用は債務負担行為に含む。

新庁舎整備事業費用 29億9,763万9千円

債務負担行為を設定して令和9年度までに支出。設計施工一体型のデザインビルド方式を採用。

歳入		歳出	
国庫	9千万円	北棟建設	22億5千万円
地方債	17億6,750万円	南棟建設	4億3千万円
基金等	9億6,778万4千円	設計監理	1億2千万円
一般財源	1億7,235万5千円	埋蔵本掘	1億9,763万9千円

解説 債務負担行為とは、将来の財政支出（債務）を約束する行為で、議決によって設定されるもの。

契約

●元園芸試験場（二宮果樹公園）の土地取得（議案第75号）

場所：二宮町二宮字天神谷戸1199番1ほか12筆
面積：10,736.56平方メートル
取得金額：1億3,236万312円
取得相手：住所 横浜市中区日本大通1
氏名 神奈川県知事 黒岩 祐治

（主な質疑）

- Q 現状のまま受け取ると農薬等汚染除去費用が発生しないか。
- A 今回の取得金額の元となった不動産鑑定評価は、土地の表面利用のみという前提になっている。今後、埋蔵文化財発掘時に土砂を搬出する際は、土壌汚染対策法に則って適切に対応する。
- Q 隣接と協議中だった2か所の境界線は、確定したのか。
- A 2か所のうち民間とは確定し、国とは事務的に順調に進んでいる。

【討論】

- 賛 人命リスク回避、福祉の重層的課題、膨大な行政の仕事が職員と住民の人権を守り経済効果見込む協働のパフォーマンスと先進治水対策を。（一石）
- 賛 新庁舎整備事業、災害時の対応力強化の必要性を再確認。災害対策本部の機能、装備も含めて現状の震災リスクを考えると事業推進が急務。（岡田）
- 賛 果樹公園の廃止にさびしい思い。庁舎整備の雨水葛川流入への影響は小さいと考える。発災から復興の拠り所となる新庁舎整備は急がれる。（渡辺）
- 賛 災害の中、被災者救助やインフラ復旧に自衛隊や他県の応援は必至。拠点建設は急務。庁舎がない為に起こる人災はだれが責任を取るのか。（古谷）
- 賛 現庁舎は、倒壊・崩壊の危険大、環境も劣悪。町民の生命・財産を守り、サービス向上を図るためにも一刻も早い整備が必要。（野地）
- ☒ 町長主導の新庁舎計画は老朽を名目に予算は膨張しており優先順位に疑問を感じる。反対陳情、署名もあり町民置き去りは良くない。（大沼）
- ☒ 予定地の洪水浸水・土砂災害リスク、空き校舎の庁舎利用未検討、減少する町の人口と県の「合併推進構想」、建設による環境負荷。（松崎）

- Q 開発手続きにおいて近隣説明の範囲は。
- A 開発手続き条例に則って、開発区域から30メートルの範囲。

【討論】

- 賛 大規模地震発生時、災害対策本部は町の司令塔。現庁舎は一刻も早く改善が必要。（羽根）
- 賛 総務建設経済常任委員会は庁舎機能を使いやすく提言。計画の実現が速やかに進む。（小笠原）
- ☒ 議案第69号「令和6年度二宮町一般会計補正予算第6号」と同様の理由により反対。（松崎）
- ☒ 災害の発生が想定される地区に隣接しており、新たな司令塔としては不適な場所と判断。（浜井）
- ☒ 地境・土壌汚染が不確定では問題。近隣への説明範囲が30mと消極的で問題発生を案ずる。（大沼）

賛成多数で可決（10：3）